

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：北海道開発局都市住宅課
担当課長名：相馬 和則

事業名	斜里網走通外 ¹		事業区分	街路	事業主体	北海道
起終点	自：北海道斜里町港町 至：北海道斜里町朝日町				延長	1.1 km
事業概要						
当路線は斜里町中心市街地に位置し、中央商店街を東西に通る目抜き通りであり、北海道東部の主要な観光地知床へ至る玄関口であるJR知床斜里駅のアクセス路でもある。現道の拡幅及び、駅前広場の整備を行い、円滑な交通の確保と中心市街地活性化を支援する。						
事業の目的、必要性						
当路線は、現道が狭小なため交通に支障をきたしており、沿道商店街では荷捌きスペースの不足等の弊害が生じている。土地区画整理事業と併せて当路線の拡幅整備を行うことにより、市街地中心部の円滑な交通を確保するとともに、ゆとりある歩行空間の創出、都市の再生を支援する。						
全体事業費	46億円			計画交通量	7,000台/日	
費用便益分析結果	B/C	総費用	総便益		基準年	
	1.1	38億円 事業費：37.2億円 維持管理費：0.9億円	41億円 走行時間短縮便益：40.0億円 走行費用減少便益：0.9億円 交通事故減少便益：0.0億円		平成15年	
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（整備区間にバス路線が存在し利便性の向上が図られる） ・都市の再生（区画整理等と連携し沿道まちづくりに寄与する） ・個性ある地域の形成（道内の主要な観光地である知床へのアクセス向上が期待される） ・安全な生活環境の確保（歩道が設置されることにより安全性の向上が期待できる） <p style="text-align: right;">他5項目に該当（定量的評価項目を含む）</p>						
関係する地方公共団体等の意見						
斜里網走通は、現在、市街地中心部で計画されている土地区画整理事業によるまちづくりと併せて、交通混雑の緩和、魅力ある商店街の創出に重要な役割を果たすとともに、知床の玄関口となるJR知床斜里駅へのアクセス性向上のため早急な整備を要望する。						
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。